

奥武蔵

458

奥武蔵研究会

2024年(令和6年)10月



秋探し二子山

撮影：加藤恒彦氏

伊豆ヶ岳の思い出

小泉 重光

年毎に厳しさを増すこの酷暑、今夏は都会では息も出来ないくらいのヒートアイランドとなっています。加えて度重なる台風の出現による豪雨により、奥武蔵や秩父に出掛ける機会も減ってしまったものと推察します。ですが、峠を越えれば涼しい秋風が吹き、山歩きには絶好の季節が訪れます。会員の皆様には夏の鬱憤をほらすべく思う存分に秋の野山を楽しんでいただければと思います。

さて先日、伊豆ヶ岳の茶店について話題になったので、少しだけ思い出話をしてみたいと思います。私が初めて伊豆ヶ岳に登ったのは半世紀も前の小三の時で、正丸駅もまだ開業されていませんでした。もちろん男坂のクサリ場を登ったのですが、当時は児童数も多かったのも、全ての生徒がああ狭い頂上に留まれるはずもなく、クラス毎に時間を空けて登ったように思います。今となっては登山ルートすらはつきりと思いませんが、頂上に登った際に抜群に見晴らしが良かったことと、掛小屋のように粗末な茶店があったことは憶えています。

もう二〇年近く前のこととなりますが、奥武蔵研究会に入会して初めて参加した山行もじつは伊豆ヶ岳でした。季節はまさに8月で夏も盛りの頃だったのです。けれども、当時はまだ大人気であった伊豆ヶ岳ですから、23名と多くの方が参加されました。この山行では大蔵山道から伊豆ヶ岳へと向かい、人の多い山頂を避けてクサリ場前の広場で昼食とした後、カンゼ山を経て旧正丸峠から下山。山行報告を読み返すと「風が通る場所では涼しく寒いくらいだ」とあり、晴天でしたが暑さで登るのに閉口したという記憶はありません。かつては地元の人々の信仰対象であった伊豆ヶ岳も、虚空蔵尊像の消失や急激な過疎化により、たんなる登山客の登攀対照になってしまった感がありますが、当会にとっても特別な山であり続けるでしょうね。何故なら伊豆ヶ岳が奥武蔵の「顔」に違いないのだから。

目次 第458号 令和6年10月

伊豆ヶ岳の思い出	小泉 重光 表2
— 矢われたジャングリラー —	
矢岳山稜縦走	小泉 重光 1
明治期の越生の景勝と六萬部塚(下)	町田 尚夫 4
鐘撞堂山点描 その五	野口 実 8
— 驚きの近代農業遺産 —	
弓立山と大クス	小泉 重光 13
高麗から多峯主山	岡野 守 14
箱根 阿弥陀寺・鷹巣山・飛龍ノ滝	加藤 恒彦 14
7月の集會山行「白岩集落としばづと」	村木 悦子 16
たまご水と弟富士山	吉田 美知子 17
山行計画	18
会務報告	20
集會案内	18・20
奥武蔵情報	21

③ 10月の集会について

何を行うか、山行時に希望をつのる。

④ 山での熱中症対策

・スポーツドリンク、水、梅干し、冷却グッズなどが各自が持参し、早めに使用する。

・自分だけではなく、周りにも気を配り、参加者全員が協力して、熱中症対策を行う。

⑤ 新入会員募集について

今後も「山と溪谷社」に会員募集の記事の掲載をお願いする。

⑥ その他

東吾野の歩こう会は参加者が減少しており、今後の参加について検討した。

【報告事項】

① 山行実績

メールにて6月、7月の山行実績を確認した。

② その他

・吉田さんから昭文社地図の調査報告が行われた。

・小泉会長より「会報に掲載する原稿をお待ちしております」とのことです。

出席者 大川満代 小泉重光 加藤恒彦
吉田美知子 村木悦子 計5名(村木記)

◇9月の委員会(9月3日)

【審議事項】

9月の委員会が池ビズにて開催されました。

① 会長挨拶

・「最近の若者は山歩きより、トレランに興味を持ってきているようだが、当会は独白路線で会の充実を図ろう」と挨拶があった。

② 山行計画について

・10月、11月、12月の最終的な取りまとめ。

③ 10月の集会について

・10月の集会についての検討が行われた。鐘撞堂山付近の読図山行とする。

④ 12月の忘年山行について

・平九郎茶屋にて開催する。

【報告事項】

① 山行実績

メールにて8月の山行実績を確認した。
出席者 小泉重光 斎藤慶広 吉田美知子
村木悦子 計4名 (村木記)

◎お詫びと訂正

457号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

*目次及び5頁タイトル

〈誤〉明治期の越生の景勝と六萬部隊

〈正〉明治期の越生の景勝と六萬部隊

*9頁 下段 本文10行目

〈誤〉会報44、5号〈正〉会報45、5号

*15頁 下段 右から5行目

〈誤〉本多雄一氏〈正〉本田雄一氏

◎委員会のお知らせ

11月の委員会は、11月1日(金) PM 6時30分。会場は池袋2F 2F-B1にて開催します。

尚、12月の委員会は後日お知らせ致します。

●奥武蔵情報

*正丸駅に売店「山小屋」オープン

西武鉄道では、秩父線正丸駅前の売店をリニューアルし、「山小屋」と名付けて3月にオープンさせた。従来の飲食や売店といった機能に加え、休憩スペースや更衣スペースも設置され、より登山客のニーズに合わせたものとなっている。

◎表紙について

今月号の表紙は、加藤恒彦氏による「秋探し二子山」で、横瀬町の二子山です。どうもありがとうございました。

奥武蔵	第458号	発行	小泉重光
令和6年9月20日	発行	小泉重光	
印刷所	発行所	奥武蔵研究会	
	編集者	小泉重光	
		加藤恒彦	
		成川茂雄	
		株ヌーベル社	